

さわやか通信

平成 30 年 10 月 1 日発行

No.18

あ
る
が
ま
る
に
樂
ゆ
く
た
と

さわやか憩いの家 春日

利用者 Sさん

株式会社ウェルフェアネット

会社設立 平成 12 年 12 月
代表者 代表取締役 平山正明
事業内容 福祉事業全般 築業地区を中心に
グループホーム 小規模多機能型居宅
介護施設の運営を主たる事業としている
住み慣れた地域で安心して健やかに暮ら
せる老後をお手伝いします
利用者おひとりおひとり、その人らしい
生活に日々「寄りそう」



絵・久門 裕子

まだ私が二十歳の時、「介護」の道を志そうと、介護の専門学校に通っていた頃。二週間の実習をした施設先で、鍵つきの介護服は当たり前、回路式の廊下、オムツセンサーなど衝撃の現場があつた。今も目に焼きついているのは二重扉の先に、四畳一間に家具もベッドも無い部屋で、介護服を着て過ぎていた方がおり、その方が私に「これから出して」「連れて行って」と手をさし出され、何も言葉にできず、立ちすくんでいると、私の後ろで「早くあなた出ないと、出てくるでしよう。」と寮母さんから言われ、その部屋を後にした。重度の認知症があり、他の方と生活ができないからとの理由だった。

またある時は、「介護福祉士とか、資格が取れるからつて、なんも分からんくせに。」と言われながら実習をしたこともある。寮母さんは、夜間せん妄のある方から叩かれたら、叩き返すことも日常にあつていた。実習日誌に、「私はそんな介護士になりたくない。」と書いたこともあり、学校の先生から、「これが現実だから、しっかりと目に焼きつけとおきなさい。」と指導された。

その後、時代も変わりあの光景は時代のせいだと言われた。働く人も教育

がないために認知症が病気だと認識もなく、ただ世話を懸命にしていた人達だと言われた。

平成十三年に開設した「さわやかテラス」。社会保障改革から介護保険制度

が制定され時代が急速に超高齢社会となり、激動の「平成」の波を真に受けながら、これまで「さわやかテラス・さわやか憩いの家」を大野城市・春日市・筑紫野市で、認知症に特化した事業を開拓してきた。平成の時代もわずかとなり、私達は急速な時代の変化に何を残してきたのか。

「あるがままに 楽しく ゆつたりと」の家訓を入居者の方に作って頂いてからこれまで、百名以上の方の命をお見送りしてきた。ただ介護するだけとは違い、認知症があるだけで、言葉にはできなくとも伝えたいことは山ほどある皆さんのがんばり、伴走できたことへの感謝はとても大きい。

今思うのは、「昭和」「平成」と時代が駆け抜けても、「人」を考えたり、思いやつたりしなければ、いつでも拘束の時代に戻ってしまうこと。次の世代に残すひとつ道が、どんなフィールドになつても「人」を考え続ける努力を惜しまず続けることだと感じている。

(さわやかテラス二日市・さわやか憩いの家)

西日本豪雨

豪雨の様子

春日市
春日テラス周辺（須玖地区）



春日市

春日城中央テラス前



二日市

筑紫野インター周辺



今後の課題として、グループホームの防災組織の見直しと小規模多機能を利用されている利用者さんの家と支援方法を、より具体化することを進め、形にしていくようになります。

異常気象の今夏。七月六日には、これまでにない集中豪雨が西日本を襲いました。「命の危険」を感じたこの雨は、今夏全国に被害が及ぶことになりました。「これまでにない」「記録的短時間豪雨」などのニュースが飛び交いましたが、この異常気象は毎年の事になるだろうと自覚したのも事実です。岡山の真備町や広島の呉など、豪雨からの二次的災害に見舞われ、その後、猛暑が続き、住民の皆さんの精神的なダメージは計り知れない状況でした。六日の日、短時間に判断を迫られる状況になりました。川の氾濫水位を超えるスピードの速さと、川の近くに住む利用者の方に避難して頂く判断もギリギリになりました。

その中で、筑紫野市、大野城市、春日市の七つの事業所の防災委員の連携があり、各事業所や周辺の状況、道路状況を互いに状況を伝達しながら、危険な箇所を把握していくことが、これまでの防災組織が稼働していると感じました。

課題も多くあり、「避難準備」「避難指示」「避難勧告」を他人事として感じていた時から、目の前の景色が一刻一刻と変わるもので「避難勧告」になつてから我が事として行動した状況があり、今後発令される情報を正しく理解することも大切な事と感じました。

【デンマーク研修】



六月一日～十三日、「福祉国家」デンマークへ、大谷るみ子さん他六名で研修に行かせて頂きました。



日本でいうグループホーム・特養・デイなど見学したり、高齢者協会、弁護士のスザンヌさんより認知症介護における人権擁護の講義を聴いたりしました。制度面で利用者と働く職員の両方のために整っているなど感じました。

認知症であっても本人の思いを中心と考えること・思いやり(オムソ-)を大切にすること・言葉遣いや信頼関係を大事にすることは、日本も同じだと再確認しました。また、認知症当事者のヤンさんとの出会いでは認知症と診断を受けた時から今の生活の話を伺い、「ネットワークを持つて自分らしく生きていく」・「病気の不安はあるが、恥ずかしいことではないので、困つたら周りに頼ること」を学びました。因みにW杯も楽しみにしておられました。

何が大事かは国が違えど変わらないので、その芯がぶれないよう繰り返し言葉にしていくことを忘れず、日々に活かしていくたいと思います。

(さわやか憩いの家春日責任者 光武祐一郎)

(さわやか憩いの家大野城中央責任者 秋吉裕美)

(さわやかテラス二日市責任者 紺田光二)

【認知症ケア学会ー㏌新潟】



六月十六日、十七日「あなたの隣にいます」認知症の人もわたしました」と

いうテーマで第十九回日本認知症ケア学会大会が新潟県の朱鷺メッセであり、参加してきました。



全国から約三千人が集まり、私は、生まれ育った町だからこそ、今も昔も変わらない生活が送れている利用者の事例をポスターにして発表してきました。

私たち一人ひとりが他の誰とも違うように、認知症であろうとなかろうと普通の生活があります。地域とは特別なものではなく、私たちすべての人が、一つの思いやりを持つていれば、誰もが住み

よい社会になると大いに感じました。



また、災害支援のことや、10T、外国人雇用の話も多くあり、時代の流れを感じる大会でした。

(さわやか憩いの家春日責任者 山城裕美)

【北海道胆振東部地震により日本在宅ホスピス全国大会ー㏌とかち延期】



九月六日に北海道胆振東部地震が発生し、第二十五回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会ー㏌と

からは、安全面の確保ができないため中止となりました。私の実家が北海道の旭川にあり、震源地からは離れていましたが、停電や断水、今は節電と物が置いていない状況が続いています。

今回、筑紫野市で初の認知症カフェ「喫茶いこい」の取り組みについて「憩い 来い 来い みんな来い」というテーマでポスター発表をする予定でした。喫茶いこいは、利用者の方が主として発表してきました。

私たち一人ひとりが他の誰とも違うように、認知症であろうとなかろうと普通の生活があります。地域とは特別なものではなく、私たちすべての人が、一つの思いやりを持つていれば、誰もが住み

よい社会となり、来られた方々を出迎え、一緒に過ごされています。少しずつ近所の親子連れの方、学生さん、民生委員さんや薬剤師さんも気軽に立ち寄れる場所になり、「認知症になつても生き生きされて所があるかもしない」という希望が持てたと聞いて、悪いことはかりじやないんやね」というような意見が多く聞かれます。生き生きと暮らし続けることは、できることの支援と困った時にも安心できる環境が必要だと感じています。筑紫野市では、認知症カワエの開催が増えており、様々な活動を通じて認知症への理解とやさしい町づくりが進められており、私たちも今後も貢献していきたいです。

【福岡点字図書館講演会】



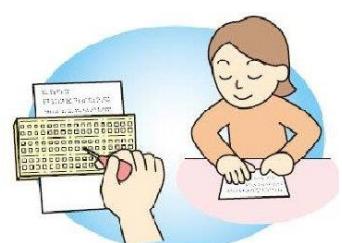
福岡点字図書館の館長さんより「鍵をかけないケアの本を読みました。いろんな方に読んでもらいたいので、点訳、音訳をして、ぜひ点字図書館に置かせてください」と言わされました。また「ついにて、高齢期をどう生きるかを視点に話してほしい」と依頼があり、五月二十日、わやか憩いの家の様子をお話させて頂きました。



皆さん目が見えない分、耳を澄まし、真剣な様子で私の話に耳を傾けてくださいました。質問や意見がたくさんあり、高齢者になる」とへの不安を訴えておられる方や障害を持つても高齢になつた時に伸び伸びと過ごせるような居場所があるかもしないという希望が持てたと

約百名の園児と二十名の先生方が参加され、劇を中心にお年寄りに対する声掛け方などを説明しました。

三歳までの子どもたちに伝える難しさはありませんでしたが、アンパンマンを例に出して話をすると質問が多く出ました。子ども達が真剣に聞く表情や素直なまなざし、表情豊かなリアクションを感じ、お年寄り、認知症の方の気持ちを伝えることの大切さを改めて感じました。



【キッズサポートー㏌保育所】



春日の須玖保育所より、七夕祭りへの招待がありました。その前に、園児達にお年寄りについて少しでも知つて欲しい

ことで、お年寄りについての勉強会を行いました。約百名の園児と二十名の先生方が参加され、劇を中心にお年寄りに対する声掛け方などを説明しました。

皆様お誘いあわせの上お越しくださいませ。



【お知らせ】

十一月十一日の「介護の日」に「認知症あつたかホームコンサート2018」がパピヨン24で開催されます。

(さわやかテラス春日責任者 長野太一)



「あの日・あの時」
父が導いてくれた

「介護の仕事」

私がさわやかテラスで働く
ようになつて、もうすぐ三年。
探し物をやつと見つけたとい
う感じです。六十代で認知症を
患つた父が十年前に亡くなり
思うように寄りそえなかつた
悲しみを引きずつていました。
ふと目にした病院レストラン
の求人広告に応募し、働き始め
ました。仕事を通して意識が別
に行くことで、悲しみが少しず
つ癒えていく様でした。レスト
ランをご利用されるお客様は
様々で、それぞれのご事情や悩
みを合間に話していかれます。
父に寄りそつた時間の中で思
い・迷い・行き詰まりを感じた
日々を思い出しました。

朝から勉強されている看護
師さんがおられました。『おは
ようございます。介護のお勉強
ですか』と伺うと『そなんで
す。資格を取ろうと思つて』と
の事。『そうですか。熱心です
ね。お若いからできますね』と
言うと『いえ、私は何歳からで
もできると思いますよ。始めら
れませんか』と思いがけない言
葉が返つてきました。『今から
介護の勉強を?』と思いながら
も、なぜかその時の事は心に強
く残りました。病院のレストラン
の仕事で元気になつた私で



(さわやかテラス大野城中央 大串 真佐子)

（さわやかテラス大野城中央 川嶋 文子）

今、この編集後記を書いている外
ではセミが鳴いています。今年はセ
ミの鳴き声を聞くと、より一層暑さ
を感じます。先日、驚くことに仕事
中の私のズボンにセミがくっついて
いました。いつどこでくついたの
か分かりませんが、あまり元気がな
くおとなしいセミでした。丁度入居
者さんのお部屋にいたため「セミが
くつっていました!」とお見せす
ると、普段外出はされることはある
ても、セミを間近で見られるることは
そう無いため、ビックリされたので
しょう。それまであまりお話をされ
なかったSさんが「セミ?...どこでひ
つけて来たとねー。見せて!」と窓
目を真ん丸にされました。それから
二人でじっくりセミを観察して記念
写真を撮り、「飛んでいい!」と窓
からセミを逃がしました。九十歳を
超えたSさんが少女の様に見えまし
た。もし私がセミをすぐに逃がして
いればSさんの笑顔を見ることは無
かつたと思います。たつた数分でし
たが、凄く印象深い出来事になりました。

日々働く中で、一日として同じ日
を過ごすことはありません。毎日色々
なことが起こり刺激を受けていま
す。辛いことや悩むこともあります
が、お年寄りの笑顔や元気な姿を見
ると、この仕事をしていく良かつた
と思います。今回、ちょっとしたこ
ともお年寄りと喜びを共有するこ
とは大切だと実感しました。日々
の業務に追われる中でも、視野を広
く、一呼吸置くこと大切にしていき
たいです。

したが、やりがいという点では
少し違いました。一年後お世話
になつた仲間に別れを告げて、
翌月には介護の学校を選んで
いました。講義は、講師の方々
の深く熱い思いが伝わつてき
て、目指すべきことがはつきり
見えてきました。そして、職場
説明会でウェルフェアネット
の山城さんとお会いしたので
す。清潔感のある主婦というイ
メージで自然な雰囲気が印象
的でした。「あるがままに楽し
くゆつたりとお過ごし頂いて
います。」その説明で、日常の
様子が見えてくるようでした。
とても関心があるとお伝えす
ると、さわやかテラス大野城の
夏祭り見学に誘つて頂きまし
た。父を通して見ていた介護の
イメージとは違い家庭の中での
入居者の方が過ごされている
という嬉しい驚きでした。尚、
毎日勉強させて頂くばかりで
す。入居者の皆様、若い上司の
方々、スタッフの皆さんとの時
間を大切に過ごしていきたい
と思います。

編集後記



ウェルフェアネット30年度の活動

社外研修・セミナー参加

- 日本ホスピス・在宅ケア研究会
- デンマーク研修・韓国研修
- 日本セラピューティック・ケア
- 日本認知症ケア学会
- 全国小規模多機能居宅介護事業者連絡会
- 九州地区での各種研修
- 他事業所との合同研修

各団体との関わり

- 福岡県高齢者グループホーム協議会
- 筑紫地区介護保険事業者連絡協議会
- 福岡県介護福祉士会
- 安心サポートネット
- ホスピス緩和ケアネットワーク福岡
- 筑紫地区小規模多機能連絡協議会

地域との関わり

- 各地域の自治会・育成会・老人会等
- 地域の保育園・小学校
- 民生委員・福祉委員
- 各地区の地域包括支援センター
- 筑紫野市介護を考える家族の会
- 春日市介護を考える家族の会
- 「ひだまりの会」

相談会や講座開催に積極的に協力

- 認知症介護指導者
- 認知症サポート養成講座
- 社外実習生の受け入れ
- 公民館活動との連携

災害広域相互協定の推進

筑紫野市

グループホーム

さわやかテラス二日市

〒818-0042 筑紫野市立明寺533-1
TEL 092-918-0045 FAX 092-918-0255

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家二日市

〒818-0042 筑紫野市立明寺534-3
TEL 092-918-3830 FAX 092-918-0255

大野城市

グループホーム

さわやかテラス大野城

〒816-0971 大野城市牛頸4丁目5-29
TEL 092-513-7511 FAX 092-513-7512

グループホーム

さわやかテラス大野城中央

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号
TEL 092-501-0352 FAX 092-501-0323

春日市

グループホーム

さわやかテラス春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL 092-588-3307 FAX 092-588-3308

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地
TEL 092-588-3531 FAX 092-588-3308



検索してね！

検索 さわやかテラス